

## <添付資料>

### 【 各企業・大学・団体様からのエンドースメント(アルファベット順) 】

#### ・株式会社Amadeus Code(アマデウスコード、東京都港区) 代表取締役/J.D. /音楽プロデューサー 井上 純 様

AI技術の発展に伴い個人情報や著作権保護の重要性が高まる今、国産のプラットフォームで自社データ活用のPoCを実施できることは、AI技術の安全性に課題を感じる企業にとって導入のハードルが大きく下がる画期的なことだと思います。音楽生成AIを開発、運用する我々にとって世界中のユーザにより良い作曲環境を提供できることになる、と大いに期待しています。

#### ・Atmonia ehf. (アトモニア、アイスランド レイキャビク) CEO Guðbjörg Rist (グズビヨルグ リスト) 様

Atmoniaは、持続可能なアンモニア製造プロセスを開発しているアイスランドのスタートアップ企業で、アンモニアと硝酸塩の生産分野における新技術によって温室効果ガスの排出を大幅に削減することをミッションとしています。Atmoniaの持つドメイン知識とこのプラットフォームの因果発見技術をはじめとする富士通の技術を融合することで、アンモニア合成のための新しい触媒の発見を加速していきます。

#### ・株式会社ブロードリーフ(東京都品川区) 代表取締役社長 大山 堅司 様

当社は、独自開発のIT基盤「Broadleaf Cloud Platform」をベースに、モビリティ産業を中心とした顧客にクラウドサービスを提供しています。また製造業分野においては、作業分析ソフト「OTRS」を開発・提供し、現場改善のDX支援を行っています。2年前からの富士通との共創を通じ、このほど「OTRS」と富士通の行動分析AIを組み合わせた「OTRS+AI」の提供を開始することになりました。「Fujitsu Kozuchi (code name) – Fujitsu AI Platform」よってこのような共創が広く進み、お客様の事業に貢献することを期待しています。

#### ・Cloudy Soft(クラウドソフト、米国カリフォルニア州) CEO Sunil Mirapuri(スニル ミラプuri)様

Cloudy Softは、組み込みの公平性評価機能を備えた不審行動検知を有するこのプラットフォームを推奨しています。このプラットフォームは、Cloudy SoftのAIソリューションの開発と展開を数ヶ月ではなく数週間でできるようなスピードアップしました。AIコアエンジンのモジュール式アーキテクチャにより、要件をカスタマイズすることができ、将来的にはさまざまなユースケースで使用する予定です。Fujitsu AI Ethics for Fairnessは、バイアスを積極的に緩和するために、さまざまな属性の公平性を評価しました。Cloudy Softは、大規模なエンタープライズ級のAIシステムを構築する開発者に、本プラットフォームを推奨しています。

#### ・一般社団法人 コード・フォー・ジャパン(東京都文京区) フェロー 小副川 健 様

昨今のAIの発展の影響もあり、シビックテック分野においてもAIの需要が高まっています。シビックテックの課題には、完成形のソリューションがうまく当てはまるケースはほとんどなく、ステークホルダーの声を聴きながら「ともにつくる」姿勢が大切です。今回のリリースのように、共創を前提としたAIの選択肢が増えることは喜ばしく、どのような応用ができるか考えるのが楽しみです。

#### ・Evolution (エボリューション、米国カリフォルニア州) Vice President アキ オオハシ様

富士通は世界で研究者を擁し、AIや量子コンピューティング、セキュリティ、スーパーコンピューティングなど、さまざまな分野で最先端の研究を行っています。このプラットフォームは、これらの最先端技術の一部を、これまでになくの方法で第三者に提供します。スタートアップ企業も大企業も同様に、独自のアプリケーションを実証・開発できるだけでなく、富士通が長年にわたってさまざまな業界のお客様と緊密に協力してきたことで作成した多数のAIイノベーションコンポーネントを活用できます。私は、この取り組みから生まれる破壊的なアプリケーションに非常に興味があります。

・Hike Ventures, LLC(ハイクベンチャーズ、米国カリフォルニア州) Founding Partner 安田 幹広 様

Applied AI(応用AI)スタートアップへの投資家として、AIへの関心が高まっていることに興奮しています。より良い体験を求めている企業や消費者がいる中、スタートアップにはAIを活用して競争上の優位性を生み出すユニークな機会があります。スタートアップは外部のサービスや技術と協力することで製品開発を加速できるため、本プラットフォームのリリースにはとても興奮しています。本プラットフォームのAIコアエンジンとコンピューティングプラットフォームによって、スタートアップは生産性を向上させ、顧客体験を改善し、最終的にはより成功したビジネスが可能になります。AIを採用しているスタートアップの未来は明るく、私はこれらの革新的な企業の成功への旅をサポートし続けることを熱望しています。

・京都大学大学院医学研究科 教授 奥野 恭史 様

近年のAI技術の進展は著しく、日々進化する最新技術を継続的に導入するためには、個々の逐次的なAI製品の導入では不十分であり、様々な最新AI技術を迅速かつ容易に導入できるプラットフォームが極めて重要になります。創薬・医療におけるDXを目指す我々としても、このプラットフォームに大いに期待しています。

・LARUS Business Automation S.r.l.(ララスビジネスオートメーション、イタリア ベニス) Founder, CEO Lorenzo Speranzoni (ロレンゾ スペランゾーニ) 様

LARUS社は富士通と密接に協力し、複数の業界・分野の顧客における説明可能なグラフAIソリューションの採用を加速しています。我々の説明可能なAIのオファリングである「Galileo」は、富士通の説明可能なグラフAI技術「Deep Tensor」を搭載しており、AIアルゴリズムの入力としてグラフAIを使用し、データ内の関係を分析し予測することで、ビジネスや運用の効率化を実現します。今後も富士通とのパートナーシップのもと、本プラットフォームを通じて、新たなAI製品・サービスを提供していきます。

・MoBagel Inc. (モベーゲル、米国カリフォルニア州サンタクララ) COO & Co-founder Iru Wang (イル ワン) 様

MoBagelは、2020年、2021年、2022年にGartnerによって認定されたノーコードAI/MLプラットフォームの主要ベンダーです。ノーコードAI/MLプラットフォームである「Decanter AI」は、データサイエンティストとドメインエキスパートが共同でAIソリューションを設計・構築することを可能にします。MoBagelは、AutoMLテクノロジーに関して富士通と連携しており、今回のAIプラットフォームを活用して強化されたAIサービスをお客様に提供することや、共同ソリューションの拡大を楽しみにしています。

・MODE, Inc.(モード、米国カリフォルニア州サンマテオ) CEO 上田 学 様

当社は、“データ活用で世界から『Unknown』をなくす”を理念とし、現場DXを加速させるIoTソリューションを提供しています。IoT技術を使い、現場のデータを収集・AI解析することで、業務の効率化や改善を目指しています。パートナー企業として、このプラットフォームの先端AI技術を活用した各業種顧客とのPoCを共同で実施し、AIによる社会課題やビジネス課題の解決を加速していきます。

・富士通AI倫理外部委員会 委員長 (産業技術総合研究所) 辻井 潤一 様

今回のプラットフォームは、AIツール群の提供にとどまらず、AI技術の社会実装やAI倫理律のGood Practiceを集積・継承していくことで、AIの集合知構築を目指す画期的なものです。AIは、人々の働き方、社会の在り方を大きく変えます。その社会実装には、AI技術者だけでなく、技術の使用者、恩恵や影響を受ける人たちという、多様な人々の叡智を統合し、社会的なコンセンサスを醸成することが不可欠です。透明性の高い開発プロセスを実現し、AI技術とその実装の経験を社会全体で共有し新たな試みにつなげていく基盤として、大いに期待しています。

・OmniTier Inc.(オムニティア、米国カリフォルニア州)CEO Hemant Thapar(ヘマント サパー)様

バイオテクノロジースタートアップの創業者として、富士通の革新的なAIプラットフォームが公開されることを楽しみにしています。このプラットフォームは、スタート時点では柔軟性と汎用性があり、ユーザが富士通の最先端AI技術のメリットを他の広く利用可能なAI技術と組み合わせることができます。富士通はスマートなアプリケーションに焦点を当てた本プラットフォームによって、私たちの仕事や生活、ビジネスに革命を起こすことを目指しています。将来的には、AIはヘルスケアや健康的な生活に大いに必要とされています。生物学的法則は現在も複雑で最も理解されていない分野であり、AIはこうした状況を変えるのに役立つでしょう。非常に複雑な遺伝子情報と病歴に基づいて、より正確な患者診断と治療プロファイルをタイムリーに作成できるため、医師は個別化医療を手頃な価格で利用できるようになります。

・株式会社オープンコレクター(東京都千代田区) 代表 小泉 守義 様

このたび、「Fujitsu Kozuchi (code name) – Fujitsu AI Platform」の開発に携わらせていただいたことを光栄に思います。そして、皆様にご紹介できる日を心待ちにしておりました。近年、という書き出しで表現できないスピードで人工知能が進歩する中、多くの人々にAIの価値を届けるための試みが世界中で行われています。私たちは、本プラットフォームがその試みをさらに加速し、未来が多くの驚きと感動にあふれることを確信しています。

・株式会社PocketRD(ポケットアールディー、東京都渋谷区) 代表取締役 初倉 宏哉 様

PocketRDは、最新鋭のアバター技術とブロックチェーンで世界中のWeb3の未来を切拓くXR/NFTビジネス BaaS(Backend as a Service)ベンダーです。アバターとAIの相性はよく、富士通のAIを弊社のアバター技術に掛け合わせることで、より魅力的なアバターを提供することができ、さらに、多種多様な事業展開が考えられます。アバタービジネスをより面白くするため、このプラットフォームで「ここにはない未来を創る」ことができると期待しています。

・REMOV株式会社(リモウ、東京都千代田区) 代表取締役社長 石井 紹良 様

日本発アニメ、映画コンテンツを企画、製作、調達、世界配給する我が社にとって今回のAIプラットフォームは、著作権保護に向けた海賊版対策技術の開発、画像生成AIの活用によるスタジオ作業の省力化に大いに寄与し、共同研究においても「AIトラスト」技術はコンテンツの真正性を保証し、クリエイターエコノミーの実現に向けた高品質の作品を生み出す原動力となる、と確信しています。

・株式会社リテールパートナーズ(山口県防府市) 取締役 青木 保 様

「Fujitsu Kozuchi (code name) – Fujitsu AI Platform」の提供開始を心より歓迎いたします。

弊社の事業会社である株式会社丸久は、これまで購買行動分析に関する実証実験を富士通と行っており、「立ち寄る」「見る」「手に取る」「買う」といった行動を可視化し、リテールメディアの効果を明らかにしてきました。富士通は第1回実証実験の研究発表で、日本マーケティング学会「ベストオーラルペーパー賞」を受賞したことを聞いています。今春より始まった第2回実証実験では、メーカー様、広告代理店様他数社が、当実証実験に加わっていただき、さらにグローバルにアカデミックになった当研究が、より実践的に作用し売上二桁増につながる成果を生み出すことを期待しています。

私は、これら地道な研究が、近い将来に、本プラットフォームにより先端AI技術が小売業にさらに拡がり、豊かな顧客体験を提供するスマートストアが実現されることを確信しています。

・SUKIYAKI(スキヤキ、米国カリフォルニア州) Founder 木村 將之 様

生成AIが全盛期を迎えている現在、企業はこの新しいAIを適切な方法で活用するための前例のない課題に直面しています。企業は、自らの価値を最大化し、情報の機密性、倫理、人権などの社会的責任を果たしつつ、適切な変革や技術導入を進める必要があります。富士通の最先端の技術要素と、世界のAIコミュニティが培ってきた最先端のAI技術の力で、お客様の課題を的確に解決する次世代のコラボレーションプラットフォームになることを期待しています。

・The Linux Foundation(米国カリフォルニア州サンフランシスコ) 日本担当バイスプレジデント 福安 徳晃 様

現代社会で使用されているITサービスやソフトウェア製品の大部分(70%-90%)は、OSSベースで開発されていると言われています。KubernetesやPyTorchのように、自社で開発した技術をオープンソース化し、そのテクノロジーの周りに大きなエコシステムを作り出すことにより、テクノロジーの進化とビジネスチャンスの拡大を目指すという手法は昨今のテック業界のトレンドであるといえます。今回富士通がオープンなAIプラットフォームを開発し、今後Linux FoundationをはじめとするOSSエコシステムと連携していく方向性を打ち出したことは非常に時節を捉えた戦略であると思います。私たちLinux Foundationとしても最大限支援していきたいと考えています。

・国立大学法人 東京医科歯科大学 M&Dデータ科学センター 特任教授・センター長 宮野 悟 様

イノベーションが起こると、人々は過去のしがらみを捨て、効率的で生産的な別世界へ移動し適応をはじめます。このプラットフォームはイノベーションを起こす「化学反応」のるつぼです。富士通の先端AI技術クラスターとOSSやパートナー独自のAIをベースとしていますが、“That’s impossible”をこのプラットフォーム(るつぼ)に入れてかきまぜると、“Beyond Imagination”ともいえるビジネスや方法論が飛び出してくることが期待できます。

・2021.AI(トゥウエンティトゥウエンティワン エーアイ、デンマーク コペンハーゲン) CEO and Founder Mikael Munck(ミカエル ムンク) 様

2021.AIの誕生以来、特にChatGPTのリリース以降、AIガバナンスの必要性は高まっており、AIを利用する組織が責任あるAIフレームワークを運用することは不可欠です。「信頼できるAIのための倫理ガイドライン」に関するEUとの関わり、富士通のようなAI業界のリーダーや規制当局と協力することで、必要とされる最高レベルのコンプライアンスを理解し、それを信頼できるAIとして保証して機能するプラットフォームに変換してきました。2021.AIは、AIにおける信頼をグローバルに構築するために富士通との協力を継続することを楽しみにしています。今回発表される「Fujitsu Kozuchi (code name) - Fujitsu AI Platform」が2021.AIの「GRACE」と連携し、お客様が容易にアクセスできるAIガバナンス環境を構築するための富士通の革新的なAI技術の基盤となっていくことを期待しています。